

学校自己評価

学校自己評価とは、戸田中央看護専門学校が、組織的・継続的な教育活動の改善を行い、学生・卒業生、関係者との連携協力による特色ある学校づくりを推進するために行う評価です。学校評価は教育機関としての機能を包括的に判定する学校関係者評価と、教職員による学校運営全般、卒業生による教育活動等、在校生による授業アンケートの評価からなっています。平成 30 年度より実施されています。

令和 4 年度の取り組みと評価

<令和 4 年度 学校自己評価結果と前年度の比較>

表1大項目評価(卒業生・在校生)

評価基準 5 大いに当てはまる 4 当てはまる 3 どちらでもない 2 当てはまらない 1 まったく当てはまらない

No	I	II	III	IV	V	VI	平均	
項目	教育理念 目標	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援	教育環境		
卒業生	R1	4.1		4.0	4.2	4.0	4.3	4.12
	R2	-		-	-	-	-	-
	R3	-		-	-	-	-	-
	R4							
在校生	R1	3.7		3.9	3.7	4.2	4.1	3.92
	R2	4.05		3.76	3.78	4.11	3.88	3.93
	R3	3.76		3.76	3.85	4.08	3.83	3.86
	R4	4.22		3.81	3.93	4.13	3.89	3.99

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、卒業生へのコンタクトが難しくなっており調査できていない。
- ・来年度は、卒業生の里帰りを企画し、アンケート調査を行う予定となっている。
- ・昨年度はほとんどの授業を対面で展開でき、多くの学生との直接対話が可能となった。
- ・学生からはコロナ禍以前(R1年度)に近い評価を得ることができた。
- ・教育環境については、場所の狭さなどハード面での改善が難しい意見が多くあるため、使いやすさに向けた工夫が必要と考える。

表2大項目評価(教職員)

評価基準 5 大いに当てはまる 4 当てはまる 3 どちらでもない 2 当てはまらない 1 まったく当てはまらない

No	I	II	III	IV	V
項目	教育理念 目標	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援
R3	3.8	3.4	3.7	3.8	3.8
R4	3.5	3.1	3.6	3.4	3.7

平均して、3.5 の評価が得られている。

No	VI	VII	VIII	IX	X	平均
項目	教育環境	学生の受け入れ募集	財務	法令等の遵守	社会貢献地域貢献	
R3	3.6	3.6	2.9	3.8	3.2	3.6
R4	3.5	3.3	3.2	3.7	3.3	3.5

-googleフォームを使用し 5 段階リッカート尺度にて調査した。

表3 在校生アンケート結果 3 学年比較(R3年度)

	1 年生	2 年生	3 年生	平均
教育理念、教育目標	3.42	3.71	4.35	3.76
授業・授業評価	3.69	3.77	3.79	3.76
実習	3.64	3.79	3.84	3.77
国家試験対策	3.75	3.85	3.95	3.85
学校行事	3.66	3.46	3.95	3.68
学生支援	4.06	4.04	4.12	4.08
教育環境	3.74	3.78	3.96	3.83
学校生活全般	3.88	4.18	4.25	4.11

1 年生 回答率 83.6%
 2 年生 回答率 89.5%
 3 年生 回答率 90.4%

表4 在校生アンケート結果 3 学年比較(R4年度)

	1 年生	2 年生	3 年生	平均
教育理念、教育目標	4.41	3.83	4.49	4.22
授業・授業評価	3.90	3.63	3.94	3.81
実習	3.89	3.74	3.85	3.82
国家試験対策	3.89	3.72	4.27	3.93
学校行事	4.12	3.90	3.85	3.97
学生支援	4.31	3.96	4.12	4.13
教育環境	4.05	3.67	3.97	3.89
学校生活全般	4.12	3.91	4.55	4.16

1 年生 回答率 87.1%
 2 年生 回答率 95.5%
 3 年生 回答率 65.6%

多くの項目で、昨年度の数値を上回ることができており、平均ではすべての項目で昨年度の数値を上回っている。対面授業、臨地での実習、行事等が通常通りに行われるようになったためかと考える。

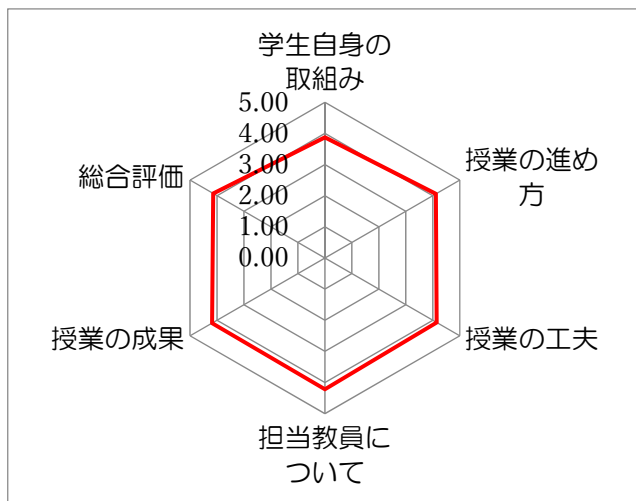


表5 授業評価

学生自身の取組み	3.87
授業の進め方	4.12
授業の工夫	4.14
担当教員について	4.22
授業の成果	4.18
総合評価	4.14

ほとんどの項目で 4 以上の評価となっている。学生の主体的な学習を促すよう工夫することで、「学生自身の取り組み」が向上していくと考える。

図1 授業評価のレーダーチャート 在校生アンケート

表6 GPA(Grade Point Average)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
3 未満	1 名	3 名	10 名
3.0~3.2 未満	6 名	11 名	16 名
3.2~3.4 未満	28 名	7 名	26 名
3.4~3.6 未満	28 名	32 名	23 名
3.6~3.8 未満	33 名	40 名	32 名
3.8 以上	16 名	20 名	18 名

GPA(Grade Point Average): 3 年間を通じた各科目の成績を A 評価は 4 点、B 評価は 3 点、C 評価は 2 点、D 評価は 1 点としたときの平均値。

GPA 平均: 令和 2 年度(3.40)、令和 3 年度(3.58)、令和 4 年度(3.46)であった。

表 7-1 学年目標(2 年次・3 年次) 自己評価結果

2 年次目標		平均		3 年次目標		平均	
礼	①集団の中でコミュニケーションをとり協同できる	4.27	4.31	礼	1. 他者とアサーティブなコミュニケーションをとり、円滑な人間関係をつくる	4.3	4.2
	②リーダーシップやメンバーシップを発揮し、役割行動をとる	4.21			2. 医療チームでのリーダーシップ、メンバーシップのあり方を考える	4.1	
	③倫理的に配慮した行動をとる	4.36			3. 社会的役割を自覚して主体的行動をとる	4.1	
智	④自己の課題を評価し修正していく	3.67	3.97	智	4. さまざまな場面に対応できる柔軟な応用力、実践力の基礎を身につける	3.7	3.9
	⑤文献などから役立つ知見を選び、活用する	3.9			5. 自分の行った看護倫理と結び付けて振り返り、看護観を述べる	4.0	
	⑥自己及び周囲の人の健康拡大に向けた行動をとる	4.22			6. 医療・保健・福祉に関わる看護のあり方を考える	4.1	
技	⑦保健・医療・福祉のシステムを理解し活用する方法がわかる	3.83	3.92	技	7. 各発達段階、各健康水準に応じ、個別性をもった日常生活の援助を実施する	3.8	3.8
	⑧対象の充足されないニーズを導き出し、個性をもった生活を整えるための援助を実践する	3.98					

表 7-2 学年目標(1 年次)自己評価結果

1 年次目標		平均	
礼	様々な状況にある人を思いやり、尊重しあい、相互作用の中で共に成長する力を身につけている。	4.07	4.12
	看護実践における道徳的・倫理的な責務を自覚した判断と姿勢を身につけている	4.15	
智	物事を様々な視点をもって探求し、看護の質向上を図る基本的な能力を身につけている。	3.71	3.71
技	健康の状態やその変化に応じた臨床判断を行う基礎的な能力を身につけている	4.01	4.04
	地域共生社会における看護師の役割及び他職種との役割を理解し、多職種と連携・協働する基本的な能力を身につけている。	4.07	

新カリキュラムに伴い、学年の目標を変更している。すべての項目で 3.5 以上であり、おおむね目標に達していると考えられる。

表 8 保護者会実施状況

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	時期	参加人数	時期	参加人数	時期	参加人数	時期	参加人数
1 年生	入学式	120 名	入学式	中止	3 月	動画配信	2 月	動画配信
2 年生	7 月	76 名	7 月	中止	8 月	動画配信	8 月	動画配信
3 年生	11 月	73 名	11 月	中止	11 月	動画配信	11 月	動画配信

保護者会は、感染拡大防止の観点から今年度も動画配信とした。多くの保護者にご視聴いただけた。視聴後のアンケート調査により、多くの保護者から学校での様子がわかり満足したという回答をいただけた。今後は、時期や対面での実施についても検討していく。

表9 図書室利用状況 利用者数(名)

	1年生	2年生	3年生	教員	学外者	学生総数	総数(名)
令和元年度	1,319	5,869	8,390	1,122	116	15,578	16,816
令和2年度	1,105	1,535	5,300	1,112	53	7,940	9,105
令和3年度	1,054	2,384	7,500	1,713	38	10,938	12,689
令和4年度	1,261	4,041	4,994	1,518	68	10,296	11,882

感染防止策をしつつ、全面的に登校ができるようになったことにより、図書室の利用は増加してきている。3年生の利用数が大幅に減少したのは、校内 Wi-Fi の設置によりインターネット検索および資料へのアクセスが容易になったためと考えられる。

表10 ボランティア活動への参加延べ人数

ボランティア活動	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)
グリーン・レヅ 藤・グリーン・レヅ 朝霞台 夏祭り	35名	中止	中止	中止
グリーン・レヅ 安行 夏祭り	23名	中止	中止	中止
とだ優和の杜 夏祭り	40名	中止	中止	中止
ピンクリボン活動	150名	中止	中止	117名
戸田中央総合病院・戸田中央産院合同大規模災害訓練	90名	中止	中止	中止
さいたま国際マラソン全校ボランティア	360名	中止	未開催	未開催
戸田市消防総合演習	120名	中止	中止	中止
都立光が丘公園災害時共助訓練	26名	中止	中止	中止
ボランティアサークル清掃活動	—	—	11名	4名
トルコシリア地震募金活動	—	—	—	14名
	844名	0名	11名	135名

コロナ禍で中止になっていたボランティア活動の一部が再開されたが、中止が多く、未だ十分な活動はできていない。

表11 研修への参加延べ人数(教員)

区 分	令和2年	令和3年	令和4年
	人数(名)	人数(名)	人数(名)
授業設計	2名	5名	
シミュレーション		1名	1名
教育実践		2名	7名
学会	1名	7名	
教育評価			
看護実践			4名
管理			
カリキュラム	1名		
国家試験対策	1名	1名	1名
総数(複数回参加有)	5名	16名	13名